

文部科学大臣 萩生田光一 様
文化庁長官 宮田亮平 様

今回のあいちトリエンナーレ2019における補助金不交付の決定の報を受けて考えていることを文面にします。

一連の補助金交付判断過程の中で不交付決定に至る思考過程が広く国民に示されないのは感情的な上意下達であると受け取られてもしかたありません。

多様性に着目した事業展開を芸術家とその関係者及び賛同者に課しながらも事業の補助金を一切交付しないという判断には唖然とするばかりです。

わたしたち芸術家は一時の名誉や経済的な優遇にのみ満足するものではありません。それぞれに経験と今後の予定があります。個々の芸術家には積み重なる試練というものもあります。それらを鑑みずに一方的な補助金不交付の決定をなすことは芸術家たちのそれぞれの活動の転換点において大きな疵痕を残すことになります。

文化庁長官である宮田亮平さんはかつて東京藝術大学の陳列館で「藝大は国家をつくっている」と発言なさいました。わたしたちの耳には「げいだいはいこっかをつくっている」という言葉が「藝大は国歌をつくっている」とも「藝大は国貨をつくっている」とも「藝大は国家をつくっている」とも聞こえ大変感心したものです。状況が混迷することが新しい時代への進化の表れであるならば「藝大は国禍をつくっている」と受け取ることもできましょう。

以上が文化庁によるあいちトリエンナーレ2019への補助金不交付のお知らせを文部科学省大臣から受けた時の印象です。

文化庁は補助金不交付へ至る思考過程の誤りに気づき補助金再交付の手続きをすみやかにおこなってください。

ワンカップ フォトス 発起人 富永剛総
2019年10月05日